

ハートケア通信

2026年2月号

発行：2026年2月1日 No. 269
 ハートケアグループ
 〒583-0021 大阪府藤井寺市御舟町 1-63
 藤井寺オフィスビル
 編集：ハートケア通信編集委員
 TEL 072-931-2355
 FAX 072-931-6620



お正月飾り制作 (リハビリプラザ桜ヶ丘)



今月の特集

リハビリプラザ羽曳野にスロット導入！～めざせ！1000回 BIG BONUS～

ハートケアグループ

快適をご利用者に 安心をご家族に since1988

(株) ハートケアホールディングス
 (株) 大阪ホームケアサービス
 (株) メディケア・リハビリ
 (株) 青蓮荘
 (株) マイオセラピー研究所
 NPO法人 ケア・ユニゾン



<https://www.medi-care.co.jp>

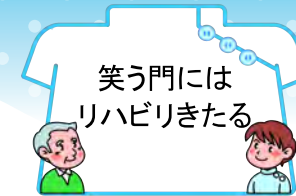
ハートケアグループ
ホームページ

- ◆ 介護保険ご利用者総数：5049名 (2026年1月1日現在)
 【ケアプラン契約数】762名 【訪問介護事業】471名
 【通所介護事業】1494名 【訪問看護事業】1879名
 【福祉用具レンタル事業】443名
 ◆ 介護保険外ご利用者総数：1542名
 【訪問看護事業(医療)】1081名
 【訪問介護事業(障害者総合支援)】31名
 【個人契約ヘルパー】5名 【有料老人ホーム】425名
 ◆ 住宅改修・福祉用具購入(介護保険内外含む)：9件
 ◆ 障がい児通所支援事業：515名

※上記の数は複数のサービスを利用される方の重複を含みます

◇ ハートケアグループ 職員数：930名

ご利用者虐待防止相談窓口 TEL：072-931-7735 担当：井口



寒い季節こそ笑って過ごす！

皆さんは、最近笑っていますか？

寒くなり、気持ちも落ち込みやすい季節になりました。中々動くことも億劫になったり、いつもやっていることをしなくなったりすることも増えてくると思います。そうすると、しなかった自分を責めて、気持ちも落ち込み、表情も硬くなるが多くなっていませんか？



いいことがないと、笑うことはないと考えてしまう人も多いのではないのでしょうか。ですが、少しでもいいので表情を緩めてみてください。そうすることで、心が軽くなり、起きた出来事に対しいつもよりポジティブに受け入れられるようになります。

リハビリを行っていて、この時期は寒さの影響もあり、いつも以上に体を動かすににくいといったことも増えると思います。

そんな時に、ふと考えてみてください。皆が表情も柔らかく楽しんでいる場と、表情が硬く引き締まった場。その両方を想像すると、前者の方が身体も動かしやすくリラックスして過ごせると思います。

リハビリは長い道のりになると思います。無理に笑わなくても、少し口角を上げることを意識して取り組むだけで少し動きは変わってくると思います。

心は身体の前動力にもなります。少しずつ表情を柔らかくして進んでいきましょう。



前向きに過ごすうえの手段として

- ①趣味を見つける
- ②楽しいことを再発見する

ということがあります。

例として、100均の子どものおもちゃなどが置いてあるコーナーに折り紙や、編み物、ビーズアート等があります。

安価で、始めてみるにもハードルが低く、簡単なものから少しずつステップアップしていくのがおすすめです。



もし何をしようか悩んでいる方がいれば、弊社スタッフの趣味や日々行っていることを参考にしてみても良いと思います。

自分の楽しいと思うことを見つけて、表情を柔らかくして過ごし、寒さで気持ちが落ち込まないように過ごしていきましょう！



メディケア・リハビリ
訪問看護ステーション亀岡
作業療法士 板垣 雄也



有料老人ホーム 空室状況

(2026年1月現在)

青蓮荘	△	ケアホーム藤井寺	満	ケアホーム長吉	満
コンフォート門真	△	ケアホーム寝屋川	満	ケアホーム加美	満
コンフォート大東	△	ケアホーム寝屋川宝町	○	ケアホーム俊徳道	△
ケアホーム伊賀	△	※空室情報は変動することがあります。			

入居相談 お問合せ窓口 ☎ 0120-974-115 (平日9時～18時)

デイサービス 空室状況

(2026年1月現在)

リハビリプラザ桜ヶ丘	○	リハビリプラザ小山	○	リハビリプラザ深野	○
リハビリプラザ羽曳野	○	リハビリプラザ守口	○	リハビリプラザ東大阪	○
リハビリプラザ松原	○	リハビリプラザ高槻	○	リハビリプラザなでしこ	○

お問合せ
各デイサービスまでお問合せ下さい。



※曜日によって空室状況は異なります。
空室状況は変動することがありますので、詳しくはお問合せ下さい。

デイサービスホームページ▶



訪問を終えて
前にお祝いした12月9日には、昼食前にお祝いした1000回は、成のお祝い、お粥大福という和菓子の紹介があり、お弁当にデザートとして付けて用意されました。ご利用者にお粥大福の感想をお聞きすると「皮が口でスッ」とけてお餅とお粥も美味しちよつと違ってとっても美味いわ！」「羽二重餅みたいな口でスッと解ける」「上品な甘さで美味しい！」「珍しいものをいただくだけで嬉しいわ」と皆様に好評で、「今日はこんな美味しいものが食べられて幸せな日になったわ」ととても嬉しい声も聞きました。

この日も午後からは、大きなテレビ画面で脳トレクイズに取り組まれる方、名物の素晴らしいちぎり絵立体壁面製作に取り組まれている方、麻雀やトランプに参加される方、クロスワードパズルをしたり、コントローラーを上手に操作してサッカードゲームをプレイして楽しませている方、趣味のプラモデル制作に熱心に取り組んでいる方など、様々な活動で活気に溢れていました。
新たなスロットも追加され、ご利用者の興味や楽しみに寄り添ったサービスを目指すスタッフの想いを感じることができました。



1000回を達成した昨年に続いて、早速、次のイベント「NEWめざせ！2026回BIG BONUS」がスタートしています。次は今年2026年にちなんだ2026回が目標です。1000回ごとの1126回、1226回：の小さな目標も目指しながら皆さんにチャレンジを楽しんでいただけたといいですね。



ハートケアのやさしい介護

有料老人ホームの取り組み

いつまでも心は生き生きと

自分の足で立ちたい

退院後、下肢筋力の低下により、歩行が不安定になったり、これまでご自身でできていた立ち上がり動作に介助が必要となる方が増えています。

当施設では、「できる力を少しでも取り戻す」ことを大切にし、立ち上がり動作や足踏み、もも上げ運動など、お一人おひとりの身体状況に合わせた機能改善訓練に日々取り組んでいます。



ケアホーム藤井寺では、立ち上がった状態で10秒間の立位保持を行ってから、車椅子から椅子への移乗を実施しています。毎日継続することで、少しずつ立位が安定し、「今日は昨日よりもしっかり立てた」と、ご入居者と職員が共に喜びを感じられる場面が増えています。



日常的に身体を動かすことは、身体機能の維持・向上だけでなく、気持ちの前向きさや精神的な安定にもつながります。「できた」という小さな成功体験の積み重ねが、笑顔や自信につながっています。

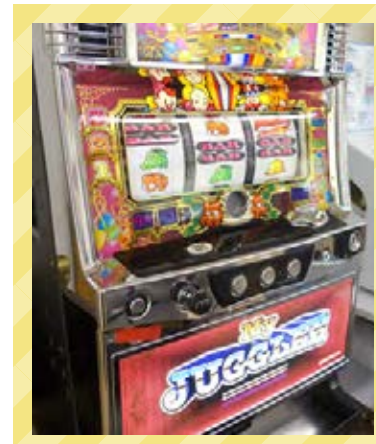
私たちは、「快適をご利用者に安心をご家族に」という理念のもと、これからも心と身体の健康を大切にしながら、小さな目標を一つひとつ積み重ね、ご入居者とともに心も生き生きとした毎日を送れるよう支援してまいります。

施設運営本部 内藤志央



リハビリプラザ羽曳野にスロット導入！めざせ！1000回BIG BONUS

ビッグボーナスは、ボタンを押すタイミングやコツ、また根気も必要で揃えるのはとても難しいものです。月曜から土曜までの午後の時間にご利用者がチャレンジし、昨年6月5日からカウントを始めて11月25日に見事1000回が達成されました。その達成を祝って、12月8日～13日には営業所からご利用者におやつのプレゼントがあり、皆様に喜んでいただけたそうです。



今月は、昨年デイセンタリーハビリプラザ羽曳野で行われたイベント「めざせ！1000回BIG BONUS」をご紹介します。デイセンタリーハビリプラザ羽曳野では、昨年5月末にスロットマシンを導入し、そのマシンを使って、皆でビッグボーナス（数字の7を横一列、あるいは左右斜め一列に並べる）1000回達成を目指そうというイベントが行われました。

スロットマシンを導入したきっかけは、営業所長に尋ねてみると、ご利用者がパチンコで昔大当たりしたという思い出話を聞き、パチンコが好きだった方もいらつしやう、昔を懐かしみ楽しんでもらえればと導入してみることになったことでした。（たぐさんの玉が出るパチンコは安全管理面で導入しにくいためスロットに）
また、リハビリプラザ羽曳野では、午後からは様々なクラブや趣味活動に取り組み楽しめられています。また、やりたいものがないう方、疾病など身体的な理由で活動に取り組めない方もいらつしやう、スロットゲームならレバーやボタン操作だけでも楽しめるので、そうした方にも挑戦してもらいやすいのではと午後からの活動メニューの一つとして追加することを決めたそうです。
導入後はパチンコやスロットゲームをしたことがあったり、好きだった方を中心に楽しませていることが多かった方や帰宅していることが多かった方や帰宅していることが多かった方や帰宅していることが多かった方など嬉しい効果もあつたそうです。



イベントを企画したのには、1000回を目指そう！という目標や目的を持ってスロットゲームをしてもらいたいというスタッフの想いがありました。マシンの前壁には、回数が目で見えるようにスタック手作りの得点パネルがあり、ビッグボーナスが出るスタックがパネルをめぐって回数を増やしてカウントします。1000回だけでなく、1000回、2000回：と1000回ごとの区切りでビッグボーナスを出すことができた人には、おめでとうの気持ちを込めて名前を掲載してささやかな記念品をプレゼントしました。
1000回達成に向けて様々なスタッフの工夫でイベントを盛り上げていました。



様々なご利用者のニーズに応えられる
デイサービスを目指して

イベント企画に込めた想い